

びん再使用ネットワーク20周年企画

## ④びんのあるフォトコンテスト 入賞作品

応募総数125作品、一次選考した12作品でインターネット投票を実施(602人参加)し、最終的にびん再使用ネットワーク幹事会で、次の作品を選考致しました。

### 👑 最優秀賞



作品名:ぼくも④びんをリユースするよ  
氏名・ペンネーム: おかっぱさん

ママが④びんのラベルをはがしていたのがおもしろ  
そうだったから、ぼくもおてつだいしてやってみた  
よ。ペリペリはがれるときもちいい。  
リユースってたのしいね。ぼくがおおきくなつても、  
みどりがいっぱいあるちきゅうだといいな。

(寸評)  
「あれ、④びんのラベル剥がしを手伝ってくれているのか  
な」と思われる赤ちゃんの仕草が、健やかな成長を願うお  
母さんの眼差しと重なり、未来に拡がる④びんのイメー  
ジを表現している素敵な作品です。

### 👑 環境賞



作品名: 空色びん  
氏名・ペンネーム: steraraさん

(寸評)透明な④びんの向こうに拡がる風景から、元気な地球  
のきれいな空をずっと見ていたいという思いが伝わってきます。

### 👑 環境賞



作品名: もう少し洗って  
氏名・ペンネーム: 手島由江さん

(寸評)お孫さんが④びんの汚れをチェック、我が家の「環境大  
臣」を微笑ましく見つめる視線が“あったかーいんだから”。

### 👑 美味しい賞



作品名: 美味しそう!!  
氏名・ペンネーム:  
TM33さん

(寸評)  
透明な④びんだからこそ、ジャムの美味しさがそのまま見えます。舐めたくなる気持ち、わかります。

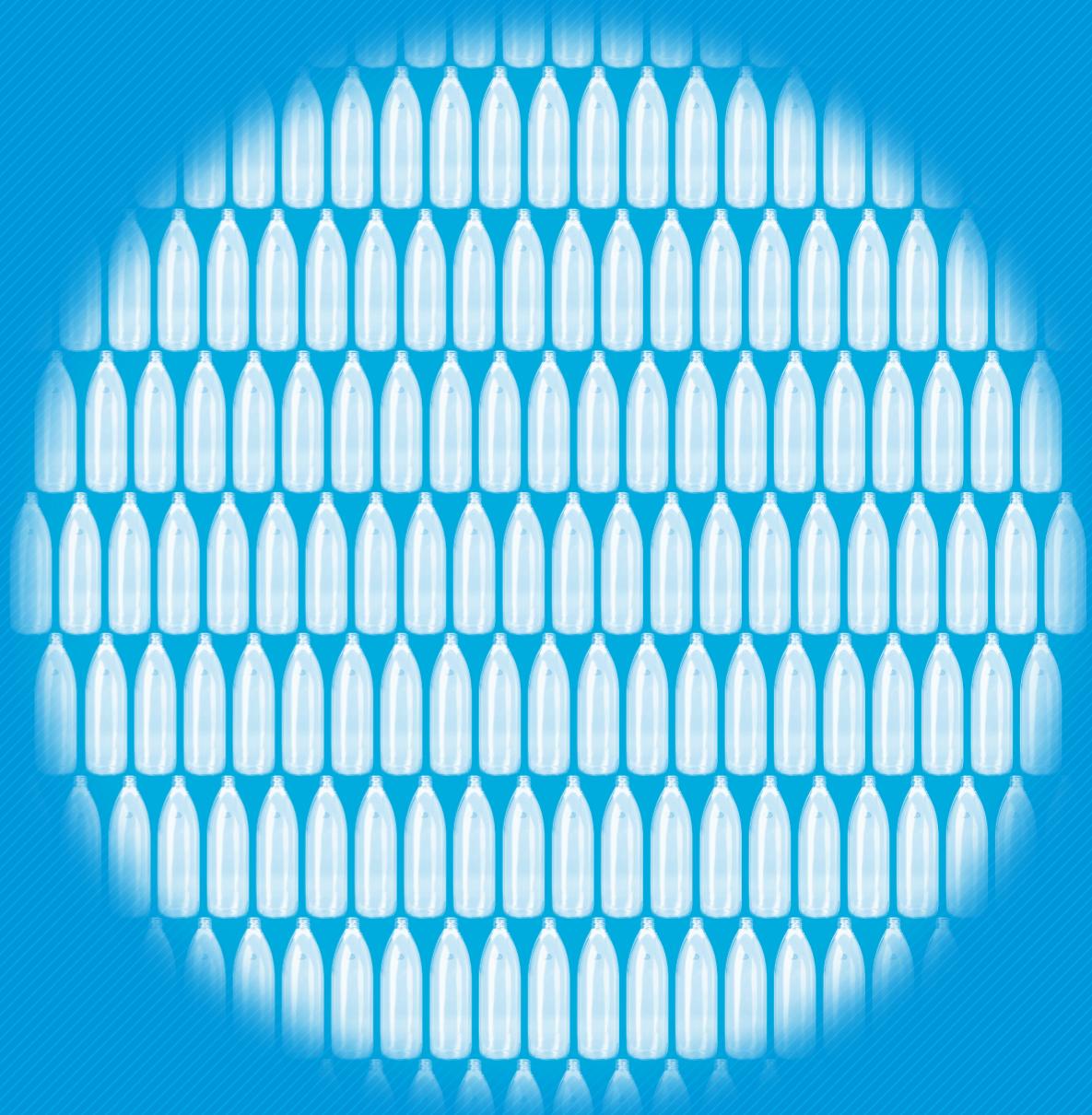


### 👑 ユーモア賞

作品名: たこやきっす  
氏名・ペンネーム:  
レインボーはまじさん

(寸評)  
口いっぱい頬張るお子  
さんの表情からは、賑  
やかな声が聞こえてき  
そう。そこに④びんを  
重ねる楽しげな情景が  
ユーモアですね。

# びんリユースの環を広げて行きます!



100本つくるか、  
100回つかうか、



びん再使用ネットワーク  
広げよう!ごみにならない、地球に優しいリユースびん

びん再使用ネットワークは、環境保全・資源循環型社会の構築を目指した生協団体のネットワークとして、1994年4月に設立。加盟生協では、食品の安全性を追求しながら、生産・消費・廃棄までを配慮した共同購入を進め、環境保全のための活動を続けてきました。家庭ごみの問題についても、容積比で6割を占める容器包装ごみが大きな社会問題となる中、くり返し使えるガラスびん容器のリユースを進めています。

# いろいろ使える(R)びんで、効率的なリユースを実現しています。

びん再使用ネットワークの加盟生協では、ガラスびんの規格を統一したことにより、回収・洗浄・選別という再使用に不可欠な作業の効率性を格段に高めることができました。

規格を統一したリユースびんは(R)びん<sup>\*1</sup>と呼ばれ、その環が生協ごとに広がっており、さらに生協の垣根を越えて、規格統一することを進めています。規格統一することで、より効率のよいリユースが実現でき、環境優位性が高まりました。さらに、びんを極限まで軽くした超軽量(R)びん<sup>\*2</sup>を採用することで、更なる資源の節約と環境負荷の低減を実現しています。

\*1 (R)びんは日本ガラスびん協会が誰でも使える開放型のリユースびんと認定したびん容器で、びんの底や肩部にRマークが刻印されています。

\*2 びんの外側表面に「コピー用紙1枚分程度」の樹脂をコーティングすることで実現しました。従来のびんより、40%も軽くなっています。



## 加盟生協団体

現在の加盟生協は5団体で、北海道から九州まで約300万世帯の組合員がこのしくみに参加しています。5生協合計で約200アイテムの商品を容量の異なる7種類の(R)びんに充填し、年間平均で1500万本を供給し、1000万本を回収しています。

5生協	生協名	組合員数	累計回収数 (累計回収率)	2016年度回収数 (重量回収率)
<b>pal*system</b>	パルシステム連合会	193万世帯	4265万本 (61.3%)	236万本 (62.9%)
<b>ぐるりーんこーپ</b> サステイナブルなひと、 <b>生活クラブ</b>	グリーンコープ連合	40万世帯	4459万本 (62.3%)	200万本 (63.2%)
<b>おいしいを、日本の烟から。 産直の東都生協</b>	生活クラブ連合会	37万世帯	1億0868万本 (70.9%)	536万本 (75.1%)
<b>KuruCo</b>	東都生協	23万世帯	1452万本 (72.8%)	28万本 (68.8%)
	新潟県総合生協	10万世帯	72万本 (40.3%)	3.6万本 (51.3%)

(2017年4月現在)

## (R)びんの回収実績

■1994年から2016年までに供給した本数は3億1844万本、回収した本数は2億1251万本、累計回収率は66.7%、回収したびん重量は6万0330トンになりました。

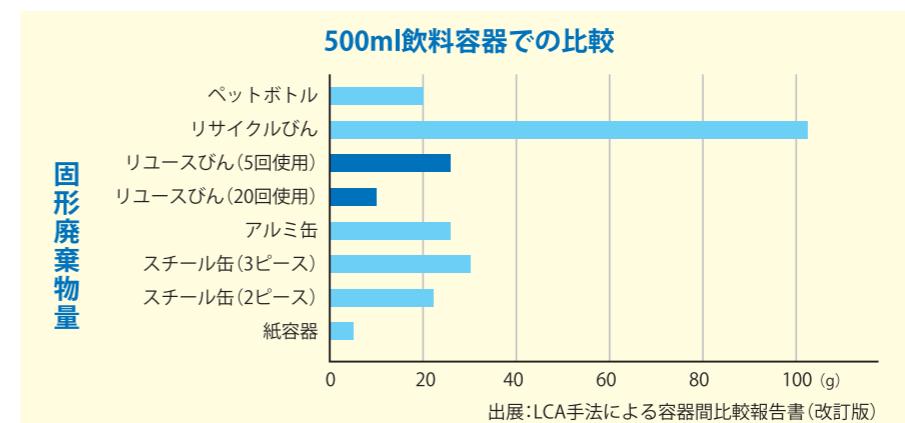
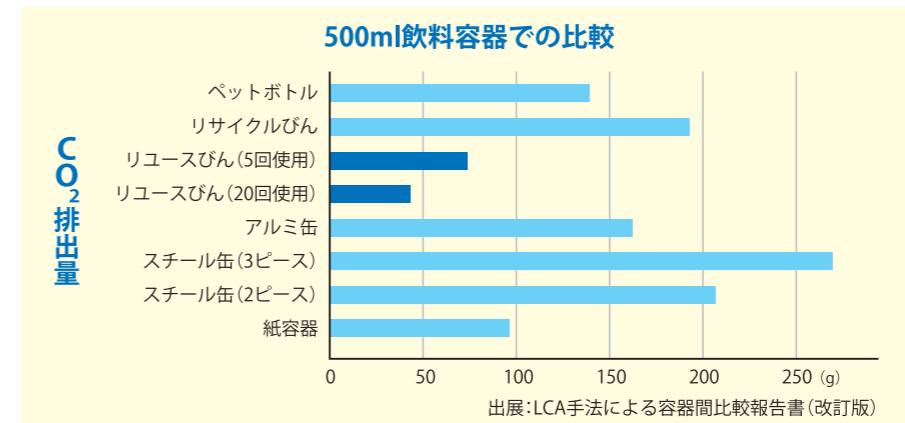
■びんをコンテナ回収すると1トン当たり約3.8m<sup>3</sup>なので、学校の体育館を10,000m<sup>3</sup>とした場合、回収したびんの6万0330トンは体育館約23棟分に相当します。

■びんをリサイクルするための自治体の分別収集費用は5万9000円/トンなので(廃棄物会計2003)、累計で35.6億円もの自治体の税金を節約したことになります。



## リユースびんの環境優位性

資源の採取から、製造、流通、使用、リサイクル、廃棄まで、各容器のライフサイクルの環境負荷を総合的に分析・評価(ライフサイクルアセスメント)すると、最も環境負荷の少ない容器はリユースびんであることがわかりました。回収率を高めれば高めるほど、環境負荷を減らすことができます。



## 容器別CO2排出量比較

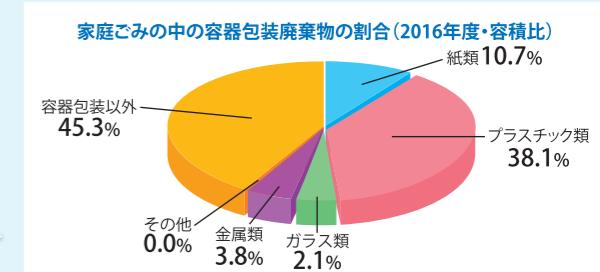
リユースびん(20回使用)におけるCO<sub>2</sub>排出量は、スチール缶(3ピース)の約7分の1、PETボトルの約3分の1、という結果で、地球温暖化防止という点からも、最も環境負荷が少ないことがわかります。缶ビールをやめてリユースびんに変えると、1本当たり(500ml)でCO<sub>2</sub>を130g減らせます。

## 容器別固体廃棄物量比較

使い終わった容器をリサイクルしても、リユース容器をくり返し使っても、廃棄物は発生します。その量を比べてみると、最も少ないのは紙容器で、その次が超軽量のリユースびん(20回使用)という結果がでした。缶ビールをやめてリユースびんに変えると、1本当たり(500ml)で廃棄物を18g減らせます。

## 家庭ごみの約半分は容器包装廃棄物

環境省の「容器包装廃棄物の使用・排出実態調査(2016年)」によれば、家庭ごみに含まれる容器包装廃棄物は容積比で54.7%、湿重量比で23.3%となっています。かつては容積比で60%を超えていましたが、相変わらず家庭ごみの問題は容器包装の問題といえます。



出展:環境省「容器包装廃棄物使用・排出実態調査」

## 減り続ける最終処分場の残余容量

環境省の「一般廃棄物の排出及び処理状況等(2015年度)」によれば、最終処分場の残余容量は年々減り続け、2015年度は104百万m<sup>3</sup>となりました。最終処分場を新しく作ることはほとんど不可能なため、深刻な状態が続いている。残余年数については、2013年度に微減しましたが、2015年度には20.4年と微増している状況です。容器包装だけでは最終処分場の問題を解決できませんが、人々の環境マインドを高めるためにも容器包装の問題はとても大事であると考えられます。

